

東山動物園猛獣画廊壁画修復募金

名古屋市美術館では、「ゆめ プレミアムアートコレクション寄附金事業」として、「東山動物園猛獣画廊壁画修復募金」を開始します。

第2次世界大戦中、東山動物園の動物は殺処分などにより激減しました。1948年、中京新聞社の提唱により、猛獣のいない寂しさを補う目的で、動物不在の獣舎に「猛獣画廊」が開設されました。世界の動物の生態を紹介する3点の壁画が、太田三郎、水谷清、宮本三郎の画家3氏によって描かれ、猛獣画廊で公開されました。

動物の飼育数が回復するに従って役目を終えた壁画は、現在名古屋市美術館に保管されています。しかし収蔵当初から損傷が激しく、良好な状態で保存、展示するために修復が必要な状況でした。皆様からいただいた寄附金を、この壁画の修復に活用させていただき、本市の貴重な文化財をあるべき姿で後世に伝えていきたいと考えています。目標額は1000万円で、令和5年度「名古屋市美術館開館35周年」での修復後の壁画の公開をめざします。

どうぞ、皆様のご協力をお願いします。



太田三郎《東山動物園猛獣画廊壁画 No.1》

1948年 油彩・キャンバス 141.0×540.0cm

※「ゆめ プレミアムアートコレクション寄附金事業」は、ふるさと納税の対象（税の控除）となります。寄附の方法等詳細につきましては「ゆめ プレミアムアートコレクション寄附金事業」のリーフレットをご覧ください。



損傷の状態

お問い合わせ
名古屋市美術館 総務課

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号

TEL 052-212-0001 [芸術と科学の杜・白川公園内]

